




AKAI
PROFESSIONAL

EW15000
サウンド・エディタ

ユーザガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://ewi.akai-pro.jp/>

AKAI
PROFESSIONAL

＜お問い合わせ＞

株式会社ニューマークジャパンコーポレーション

カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

目次

はじめに	-----	4
EWI5000 サウンド・エディタについて		
動作環境およびサポートについて		
ソフトウェアのインストール		
Windows		
Mac OS X		
概要	-----	5
グラフィカル・インターフェイス		
操作	-----	6
コントロールの使い方	-----	6
モード	-----	6
プログラムの管理	-----	7
プログラムの選択		
プログラムの保存		
コントロール・パネル	-----	7
Main ページ	-----	7
Amp コントロール		
Pitch コントロール		
Filter コントロール		
LFO コントロール		
Envelope コントロール		
Effects ページ	-----	10
Reverb		
Chorus		
Delay		
Settings ページ	-----	12
Channel / Key Delay		
Fingering		
Hold		
Interval		
Glide		
Pitch Up / Pitch Down		
Breath		
Bite		
ファームウェアのアップデート		
商標およびライセンスについて	-----	18

はじめに

EWI5000サウンド・エディタについて

EWI5000 サウンド・エディタで、あなたの創造力をさらに広げてください。この専用ソフトウェア・エディタは、お持ちの Mac や PC の EWI5000 サウンド・ライブラリに手を加えるための、強力なプラットフォームです。EWI5000 を USB ケーブルであなたのコンピュータに接続し、ライブラリから好きなインストゥルメントを呼び出し、フィルタと 2 基の LFO、パン・ノブ、チューン・コントロール、そして複数のエンベローブを調節して、全く新しいサウンドを創り出してください。エディットしたサウンドをあなたの EWI5000 に直接保存してカスタム・インストゥルメント・ライブラリを作成しておけば、いつでもそれを呼び出して演奏することができます。

動作環境およびサポートについて

動作に必要なシステム環境や互換性に関する詳細については、EWI5000 の製品ページ <http://ewi.akai-pro.jp/ewi5000/> を参照してください。

製品のサポートについては、ウェブページ <http://ewi.akai-pro.jp/support/> を参照してください。

ソフトウェアのインストール

Windows

1. ダウンロードしたインストーラの **.exe** ファイルをダブルクリックします。
2. 画面に表示される指示に従って作業を続けます。

Mac OS X

1. ダウンロードしたインストーラの **.pkg** ファイルをダブルクリックします。
2. 画面に表示される指示に従って作業を続けます。

概要

グラフィカル・インターフェイス

プログラム・マネージメント

コントロール・パネル



EWI5000 サウンド・エディタのユーザ・インターフェイスは明解で、2つのメイン・セクションに分かれています。プログラム・マネージメント・セクションは常に表示されており、コントロール・パネルの表示内容はボタンの選択によって変わります。

プログラム管理：このセクションのボタンで、プリセット・バンクやユーザ・バンクの選択や保存、EWI5000のシンセ・モードとコントローラ・モードの切り替えができます。プログラムについては、操作の章の**プログラムの管理**の項、EWI5000のモードについては、操作の章の**モード**の項を参照してください。

コントロール・パネル：Main、Effects または Settings のボタンをクリックして、閲覧するページを選択します。Main ページでは、このセクションに表示されたバーチャル・コントロールを使って、EWI5000のシンセ・パラメータの調節を行います。Effects ページでは、バーチャル・コントロールを使ってエフェクトのオン / オフの選択やパラメータの調節を行います。Settings ページでは、バーチャル・コントロールを使って EWI5000 の各種設定を行います。詳細については、操作の章の**コントロール・パネル**の項を参照してください。

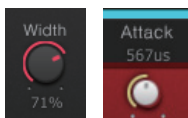
操作

コントロールの使い方

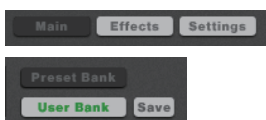
ここでは、EWI5000 サウンド・エディタのコントロールの使い方を解説します。



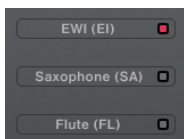
スライダー：スライダーをクリック&ドラッグで上下（または左右）に動かします。設定値はスライダーのすぐ上または下に表示されます。



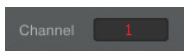
ノブ：ノブをクリック&ドラッグして時計方向または反時計方向に回します。設定値はノブのすぐ上または下に表示されます。



ボタン：ボタンをクリックして、ページやコマンドを選択したり、様々な設定を切り替えたりします。



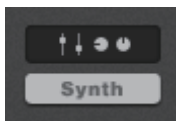
チェックボックス：チェックボックスの中をクリックして、そのオプションを選択します。



フィールド：フィールドをクリックすると、ドロップダウン・メニューが開きます。開いたメニューの中から、目的のメニュー項目を選択します。

モード

EWI5000 は、シンセ・モードとコントローラ・モードの 2 種類のモードで使用できます。



Synth モード：EWI5000 をソフトウェアなしで使用するモードで、音は EWI5000 本体内蔵のシンセ・エンジンから出ます。**Main** ページからは EWI5000 のシンセ・パラメータの調節が、**Effects** ページからはエフェクトの割り当てや調節がそれぞれ行えます。



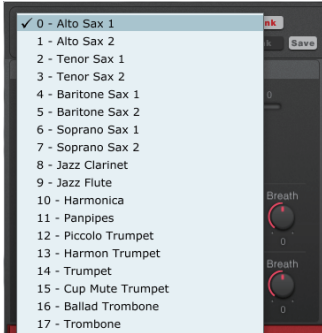
Controller モード：EWI5000 を (USB 経由でコンピュータに接続した状態で)、音楽ソフトウェアや外部シンセ・モジュールのハードウェア MIDI コントローラとして使用できます。このモードでは **Setting** ページしか表示されません。

Synth モードと Controller モードの選択は、(EWI5000 ログの隣にある) **Mode** ボタンで行います。

プログラムの管理

Synth モードでは、EWI5000 のプログラムにアクセスして、それらのエディットを行ったり、後で利用するために保存したりできます。

プログラムの選択



プログラムの選択方法：

1. プリセット・プログラムを選ぶ場合は **Preset Bank** ボタン、ユーザ・プログラムを選ぶ場合は **User Bank** ボタンをクリックします。
2. 現在選択中のプログラム名が表示されたフィールドをクリックして、表示されたドロップダウン・メニューから目的のプログラムを選択します。

プログラムの保存

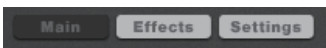


プログラムの保存方法：

1. **User Bank** ボタンの隣にある **Save** ボタンをクリックします。
2. 表示されたウィンドウのドロップダウン・メニューをクリックして、設定したプログラムを保存したいプログラム・ナンバを選びます。
3. **OK** ボタンをクリックしてプログラムを保存します。操作をキャンセルしたい場合は、**Cancel** ボタンをクリックします。

コントロール・パネル

Mainページ



以下に説明するセクションは、**Main** ページを表示させた状態で利用できます。

Ampコントロール



Vol：このスライダを上下させて、選択したプログラムの音量を設定します。

重要：全てのプログラムに対して有効な EWI5000 の **Level** ボタンとは異なります。

Pan：このノブで、プログラムのステレオ定位を調節します。

Rvrb：このスライダで、プログラムのリバース・センドの量を調節します (**Effects** ページの **Amt** と同様です)。EWI5000 の **Reverb** ノブで設定することもできます。

Chrs：このスライダで、プログラムのコーラス・センドの量を調節します (**Effects** ページの **Amt** と同様です)。EWI5000 の **Chorus** ノブで設定することもできます。

Dly：このスライダで、プログラムのディレイ・センドの量を調節します (**Effects** ページの **Amt** と同様です)。EWI5000 の **Trans** ボタンを押しながら **Bite** ノブを回して設定することもできます。

Pitchコントロール



Tuning：このスライダで、プログラムのチューニングを設定します（-1200 ~ +1200 セント）。

重要：全てのプログラムに対して有効は、EWI5000 の **Semi** および **Fine** ノブとは異なります。

Env 2：このノブで、エンベロープ 2（**Env 2**）がこのパッチのピッチまたはチューニングを変化させる度合いを設定します（-1200 ~ +1200 セント）。

参考：100 セントは半音 1 つ分に相当します。1200 セントだと 1 オクターブになります。

LFO 1 CC Amt

- **CC1**：このノブで、EWI5000 から送信される **CC1**（モジュレーション・ホイール）値に応じた LFO 1 のモジュレーションの深さを調節します。

参考：この設定を音で確認するには、CC1 モジュレーション・メッセージを送信するように EWI5000 を設定しておく必要があります。

- **Breath**：このノブで、ブレス・コントロールが LFO 1 のモジュレーションの深さに与える影響の度合いを調節します。マウスピースに吹き込む行きの量が多ければ多いほど、効果が強くなります。

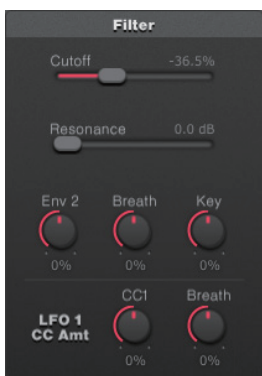
LFO 2 CC Amt

- **CC1**：このノブで、EWI5000 から送信される **CC1**（モジュレーション・ホイール）値に応じた LFO 2 のモジュレーションの深さを調節します。

参考：この設定を音で確認するには、CC1 モジュレーション・メッセージを送信するように EWI5000 を設定しておく必要があります。

- **Breath**：このノブで、ブレス・コントロールが LFO 2 のモジュレーションの深さに与える影響の度合いを調節します。マウスピースに吹き込む行きの量が多ければ多いほど、効果が強くなります。

Filterコントロール



Cutoff：このスライダで、プログラムに割り当てられたフィルタのカットオフ周波数を設定します。フィルタの設定範囲は -100 ~ +100% で、20Hz ~ 20kHz に相当します。

Resonance：このスライダで、フィルタのレゾナンスの強さを設定します。

Env 2：このノブで、エンベロープ 2 がフィルタのカットオフ周波数を変化させる度合いを設定します。

Breath：このノブで、EWI5000 のブレス・センサがフィルタのカットオフ周波数を変化させる度合いを設定します。設定範囲は -100 ~ +100% です。プラスの値にすると、EWI を強く吹くほどフィルタが開き、マイナスの値にすると、強く吹くほどフィルタが閉じます。

注意：このノブは、EWI5000 のブレス・センサが、ブレス・メッセージ（**CC #2**）を送信するように設定された時のみ有効になります。

Key：このノブで、フィルタがオーディオ信号に影響する度合いを設定します。設定範囲は -100 ~ +100% です。プラスの値にすると、フィルタの効果は弱く、マイナスの値にすると、効果が強くなります。

LFOコントロール



LFO 1

Freq : このノブで、LFO 1 のモジュレーションの速さを設定します。設定範囲は **-100** (非常に遅い) ~ **+100%** (非常に速い) です。

Delay : このノブで、LFO が音声信号に対して効果を現し始めるまでの時間を設定します。設定範囲は **10ms** ~ **10.0sec** です。

Amp : このスライダで、LFO 1 の音量変化に対する効果の深さを調節します。

Filter : このスライダで、LFO 1 がフィルタのカットオフ周波数を変化させる効果の深さを調節します。フィルタ LFO は、カットオフ周波数をプラス、マイナスの両方向に変化させます。

LFO 2

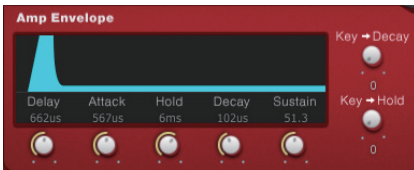
Freq : このノブで、LFO 1 のモジュレーションの速さを設定します。設定範囲は **-100** (非常に遅い) ~ **+100%** (非常に速い) です。

Delay : このノブで、LFO が音声信号に対して効果を現し始めるまでの時間を設定します。設定範囲は **10ms** ~ **10.0sec** です。

Pitch : このノブで、LFO 2 がピッチを変化させる度合いを設定します。

Envelopeコントロール

Amp Envelope



Delay : このノブで、音が鳴り始めるまでの時間を設定します。

Attack : このノブで、音がプログラムの Vol で設定した音量に達するまでの時間を設定します。

Hold : このノブで、エンベロープが **Decay** の段階に入るまでの間、プログラムの最大音量が維持される時間を設定します。

Decay : このノブで、音量が **Sustain** パラメータで設定した値に落ち着くまでの時間の長さを設定します。

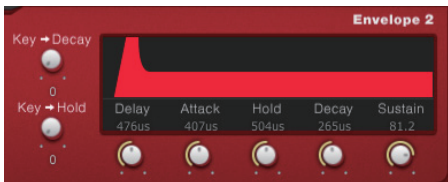
Sustain : このノブで、**Decay** の段階における音量減衰の目標値を設定します。

注意:EWI5000 には、伝統的なシンセサイザのエンベロープに見られるリリース(Release)の段階はありません。

Key > Decay : このノブで、音程が **Decay** の設定値に影響する度合いを調節します。ディケイ・タイムは音程が低くなるほど短くなり、音程が高くなるほど長くなります。

Key > Hold : このノブで、音程が **Hold** の設定値に影響する度合いを調節します。ホールド・タイムは音程が低くなるほど短くなり、音程が高くなるほど長くなります。

Envelope 2



重要：Envelope 2 の設定は、Amp Envelope のものと機能上は同じですが、Envelope 2 はチューニングやフィルタのカットオフ周波数を変化させるために使用します（モジュレーション詳細は、**Pitch** コントロールおよび **Filter** コントロールの項を参照してください）。

Delay：このノブで、エンベロープが効き始めるまでの時間を設定します。

Attack：このノブで、ピッチがプログラムで設定したチューニング値まで上がる時間や、フィルタのカットオフ周波数がプログラムで設定した値に達するまでの時間を設定します。

Hold：このノブで、エンベロープが **Decay** の段階に入るまでの間、ピッチやフィルタのカットオフ周波数が、プログラムで設定した値に維持される時間の長さを設定します。

Decay：このノブで、ピッチやフィルタのカットオフ周波数が **Sustain** パラメータで設定した値に落ち着くまでの時間を設定します。

Sustain：このノブで、ピッチやフィルタのカットオフ周波数が **Decay** の段階で下がる時の目標値を設定します。

注意：EWI5000 には、伝統的なシンセサイザのエンベロープに見られるリリース (Release) の段階はありません。

Key > Decay：このノブで、音程が **Decay** の設定値に影響する度合いを調節します。ディケイ・タイムは音程が低くなるほど短くなり、音程が高くなるほど長くなります。

Key > Hold：このノブで、音程が **Hold** の設定値に影響する度合いを調節します。ホールド・タイムは音程が低くなるほど短くなり、音程が高くなるほど長くなります。

Effectsページ

Reverb

リバーブは、特定の空間における微妙な残響をシミュレートすることで、音の広がり感を創り出すエフェクトです。



Amt (Amount)：このスライダで、プログラムのリバーブ・センド・レベルを設定します (**Main** ページの Rvrb と同様です)。EWI5000 の **Reverb** ノブで設定することもできます。

Wet：このノブで、ウェット音 (エフェクト音) とドライ音 (原音) の混ぜ具合を調節します。**0%** ではドライ音のみ、**100%** ではウェット音のみになります。**50%** では両者が同量でミックスされます。

Damp：このノブで、リバーブ音が減衰するに従って高音域が壁などに吸収されていく割合を調節します。

Width：このノブで、リバーブが創り出すステレオ音場の広がり具合を調節します。

Room Size：このノブで、リバーブがシミュレートする空間のサイズを調節します。

Chorus

コーラス・セクションでは、入力信号にピッチ・モジュレーションとディレイをかけたエフェクト音を元の信号に混ぜることで、コーラス効果を生み出します。エフェクト音の量を控えめに設定すると、複数の音声と同時に鳴っているような効果になります。



Amt (Amount) : このスライダで、プログラムのコーラス・センド・レベルを調節します (**Main** ページの Chrs と同様です)。EWI5000 の **Chorus** ノブで設定することもできます。

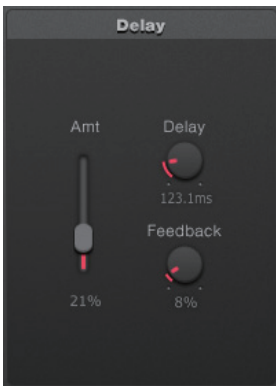
Rate : このノブで、コーラスのモジュレーション周期を **1.0** ~ **3.0**Hz の範囲で設定します。

Depth : このノブで、コーラスの深さを調節します。

参考 : きらめくような効果や水中にいるような効果を得るには、Depth の値を高めに設定します。

Delay

ディレイは、原音を特定の時間だけ遅らせることによって、エコー効果を創り出すエフェクトです。

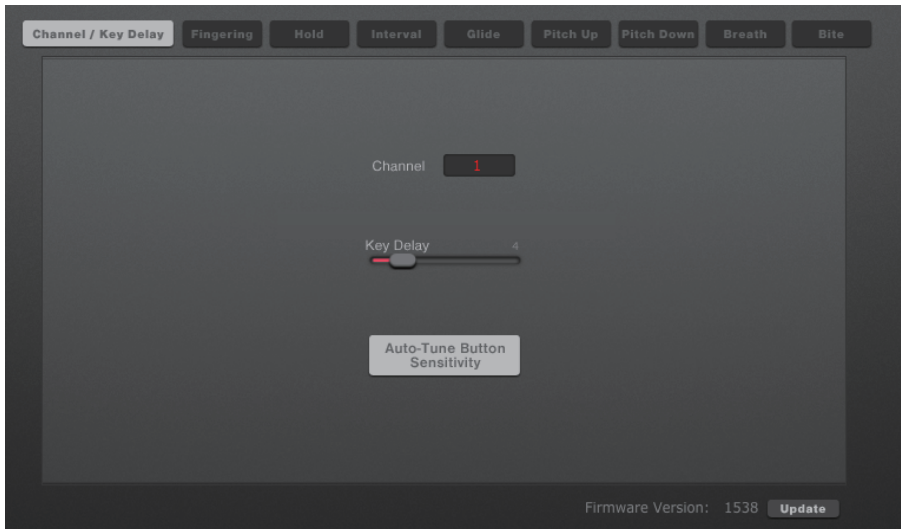


Amt (Amount) : このスライダで、プログラムのディレイ・センド・レベルを調節します (**Main** ページの Dly と同様です)。EWI5000 の **Trans** ボタンを押しながら **Bite** ノブを回して設定することもできます。

Delay : このノブで、ディレイ・タイムを設定します。設定範囲は **0.1** ~ **742.9**ms です。

Feedback : このノブで、エフェクト音がふたたびディレイ回路に戻される量を調節します。

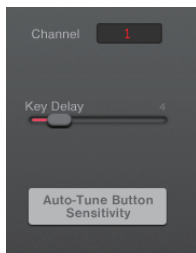
Settingsページ



Settings ページでは、好みに応じて EWI5000 の初期設定を行うことができます。エディットできる設定は、EWI5000 のセットアップ・モード（本体の **Setup** ボタンを長押しすると、このモードに入れます）のものと同じです。

以下の項で、Settings ページのそれぞれのタブについて説明します。

Channel / Key Delay



Channel : このフィールドをクリックして、EWI5000 が MIDI メッセージを送信するチャンネルを選択します（1 ～ 16）。

Key Delay : このスライダで、指のタッチに対する EWI5000 のノート・キーの感度を設定します（0 ～ 20）。演奏のスタイルによっては、この値が高すぎたり低すぎたりすると、意図しない音が出てしまう可能性があります。よりスムーズな演奏ができるような値に設定してください。

値を低くするほど、EWI5000 の感度は高くなり、多くの音を素早く連続して演奏することができるようになります。一般的には、速いフレーズやパッセージの演奏がしやすい、低めの値に設定するのが良いでしょう。

高めの値に設定すると、EWI5000 は急速な運指の変化を無視ようになります。初心者の方は、意図しない音が出るのを防ぐために、高めの値に設定することを勧めます。

Auto-Tune Button Sensitivity : このボタンをクリックして、EWI5000 のノート・キーの感度をキャリブレーションします。ウィンドウが表示されたら、（EWI5000 のノート・キーに指が触れていないことを確認した上で）**OK** をクリックしてキャリブレーションを実行します。操作を止める場合は **Cancel** をクリックします。

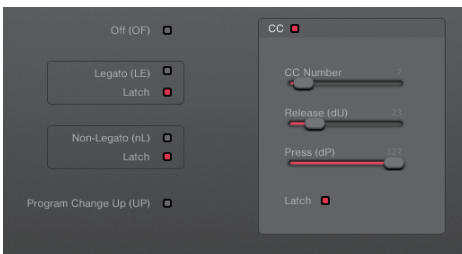
Fingering



EWI5000 は様々な運指モードを選択することで、様々な演奏スタイルに対応できます。

- EWI :** 従来の木管楽器のものを基にした、EWI5000 の基本的な運指です。
- Saxophone :** 標準的なサクソフォンに近い運指です。このモードでは、最高音のすぐ下の 2 音の運指が無視されます。
- Flute :** 標準的な C 管のフルートに似た運指ですが、EWI5000 を正しく演奏するには、フルーティストの方にとっては 2、3 の新しい運指に慣れていただく必要があります。
- Oboe :** 標準的なオーボエに似た運指です。
- EVI :** EVI とは、Electric Valve Instrument の意味で、金管楽器の運指を応用したい方に役立つでしょう。
- EVI Reversed :** この運指は、本物の EVI を演奏する時の左手首の動きにもっとも近いものです（主に、経験豊富な EVI プレーヤーの方にお勧めします）。このモードでは、オクターブ・ローラの方向が反転します。

Hold



EWI5000 の **Hold** ボタンを押すごとに、EWI5000 のホールド・モードへの入出力ができます。これを利用すると、ひとつの音を鳴らしたままにして、その音に重ねて別の音やメロディー・ラインを演奏することができます。ソフトウェアの **Hold** タブをクリックすると、EWI5000 のこのホールド・モードの動作が選択できます。

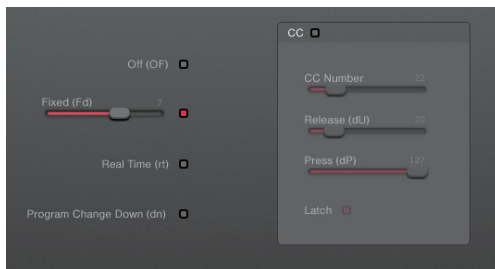
- Off :** このチェックボックスを選択すると、**Hold** ボタンが無効になります。
- Legato :** 「好きな時に」 Hold ボタンを押せばホールド・モードに入りたい場合には、このチェックボックスを選択します。Hold ボタンを押した後に最初に鳴らした音がホールドされます。その後続けて違う音を演奏しても、最初の音がホールドされます。新しいフレーズを吹くと、ホールドされる音も変わります。
- Hold ボタンをトグル・スイッチとして動作させる（ボタンを押すごとにホールド・モードのオン / オフが切り替わるようにする）場合には、**Latch** チェックボックスを選択します。ボタンをモーメンタリ動作にする（ボタンを押したままにするとホールド・モードがオンになり、離すとオフになるようにする）場合には、チェックを外します。
- Non-Legato :** 「音を鳴らした後に」 Hold ボタンを押した間だけホールド・モードをオンにしたい場合には、このチェックボックスを選択します。ボタンを押す直前に鳴らした音が、その後他の音を鳴らしている間にもホールドされます。ホールドされた音は、Hold ボタンを離せば止まります。
- Hold ボタンをトグル・スイッチとして動作させる（ボタンを押すごとにホールド・モードのオン / オフが切り替わるようにする）場合には、**Latch** チェックボックスを選択します。ボタンをモーメンタリ動作にする（ボタンを押したままにするとホールド・モードがオンになり、離すとオフになるようにする）場合には、チェックを外します。

Program Change Up : すぐ上のプログラムを選択するために **Hold** ボタンを使いたい場合に、このチェックボックスを選択します。

CC (Continuous Controller) : MIDI コンティニユアス・コントローラ (CC) データ送信ボタンとして Hold ボタンを利用する場合には、このチェックボックスを選択します。

- **CC Number** : このスライダで、Hold ボタンを押した時に送信される CC ナンバを選択します。
- **Release** : このスライダで、Hold ボタンを離れた時に送信される CC 値を設定します (以下に説明する Latch が選択されたかどうかで、動作が異なります)。
- **Press** : このスライダで、Hold ボタンを押した時に送信される CC 値を設定します (以下に説明する Latch が選択されたかどうかで、動作が異なります)。
- **Latch** : Hold ボタンをトグル・スイッチとして使う (ボタンを押すごとに、**Press** の CC 値と **Release** の CC 値が交互に送信されるようにする) 場合には、このチェックボックスを選択し、モーメンタリ・スイッチとして使う (ボタンを押したままにすると **Press** の CC 値が送信され、ボタンを離すと **Release** の CC 値が送信されるようにする) 場合には、チェックを外します。

Interval



EWI5000 の **Interval** ボタンを押すごとに、EWI5000 のインタバル・モードへの出入りができます。このモードでは、現在鳴らしている音と特定の音程関係にある 2 番目の音を鳴らすことができます。ソフトウェアの **Interval** タブをクリックすると、EWI5000 のこのインタバル・モードの動作が選択できます。

Off : このチェックボックスを選択すると、**Interval** ボタンが無効になります。

Fixed : このチェックボックスを選択すると、音程が 1 種類に固定されます。音程は **-12 ~ +12** 半音の範囲で、スライダで設定できます。

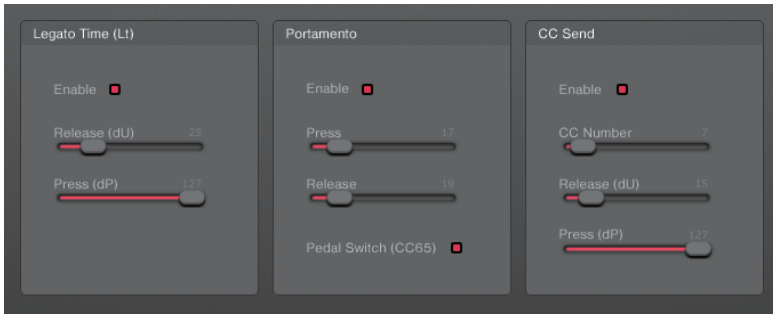
Real Time : このチェックボックスを選択すると、**Interval** ボタンを押した後に 2 つの音を鳴らすことで音程が設定できます。2 つの音の音程差が設定値になります。

Program Change Down : すぐ下のプログラムを選択するために **Interval** ボタンを使いたい場合に、このチェックボックスを選択します。

CC (Continuous Controller) : MIDI コンティニユアス・コントローラ (CC) データ送信ボタンとして **Interval** ボタンを利用する場合には、このチェックボックスを選択します。

- **CC Number** : このスライダで、Interval ボタンを押した時に送信される CC ナンバを選択します。
- **Release** : このスライダで、Interval ボタンを離れた時に送信される CC 値を設定します (以下に説明する Latch が選択されたかどうかで、動作が異なります)。
- **Press** : このスライダで、Interval ボタンを押した時に送信される CC 値を設定します (以下に説明する Latch が選択されたかどうかで、動作が異なります)。
- **Latch** : Interval ボタンをトグル・スイッチとして使う (ボタンを押すごとに、**Press** の CC 値と **Release** の CC 値が交互に送信されるようにする) 場合には、このチェックボックスを選択し、モーメンタリ・スイッチとして使う (ボタンを押したままにすると **Press** の CC 値が送信され、ボタンを離すと **Release** の CC 値が送信されるようにする) 場合には、チェックを外します。

Glide



音を鳴らしている間、グライド・プレートに触れながら親指でオクターブ・ローラの右側のグライド・プレートを（ローラを回転させないように）なぞると、グライド効果が得られます。グライド効果は音程を滑らかに上下させるもので、テクニックとしては「ポルタメント」と呼ばれます。ソフトウェアの **Glide** タブをクリックすると、EWI5000 のグライド・プレートの動作が選択できます。

Legato Time：このチェックボックスを選択すると、外部シンセ・モジュールのレガート・タイムがコントロールできるようになります（つまり、EWI5000 はコントローラ・モードで使用することになります）。

- **Release**：このスライダで、グライド・プレートに軽く触れた時に送信される CC 値を設定します。
- **Press**：このスライダで、グライド・プレートをしっかりと押さえた時に送信される CC 値を設定します。

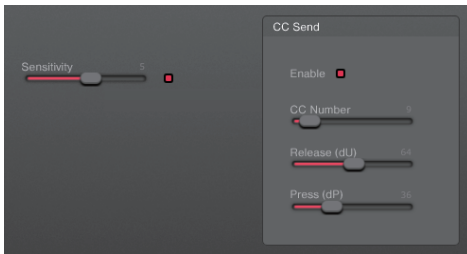
Portamento：音程を滑らかに移動するポルタメント効果が得られるようにグライド・プレートを設定すれば、演奏の表現力をよりいっそう高めることができます。

- **Release**：このスライダで、グライド・プレートに軽く触れた時に送信される CC 値を設定します。
- **Press**：このスライダで、グライド・プレートをしっかりと押さえた時に送信される CC 値を設定します。
- **Pedal Switch (CC65)**：このチェックボックスを選択すると、グライド・プレートが **CC#65** 信号（ポルタメントのオン / オフ）を送信します。EWI5000 や多くのシンセ・モジュールには必要ありませんが、モジュールによっては、ポルタメントをオン / オフするためにこのメッセージを送信する必要があります。

CC (Continuous Controller)：その他の MIDI コンティニユアス・コントローラ（CC）データを送信するためにグライド・プレートを利用する場合には、このチェックボックスを選択します。

- **CC Number**：このスライダで、グライド・プレートが送信する CC ナンバを選択します。
- **Release**：このスライダで、グライド・プレートに軽く触れた時に送信される CC 値を設定します。
- **Press**：このスライダで、グライド・プレートをしっかりと押さえた時に送信される CC 値を設定します。

Pitch Up / Pitch Down



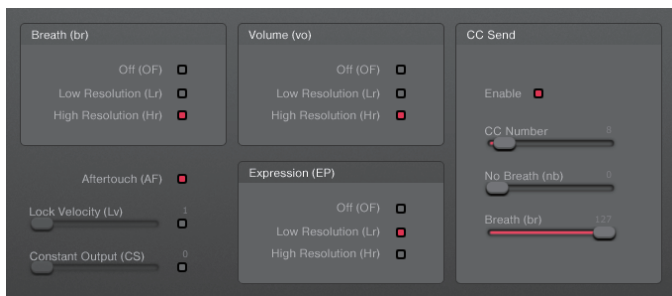
音を鳴らしている間、親指でピッチベンド・アップまたはピッチベンド・ダウンのプレートに触れると、音程を上または下にずらすことができます。EWI5000のピッチベンド・アップおよびピッチベンド・ダウンのプレートの動作は、**Pitch Up** および **Pitch Down** のタブをクリックして設定します。どちらのページも、操作できるパラメータは同じです。

Sensitivity : このスライダで、ピッチベンド・プレートの感度を調節します。

CC (Continuous Controller) : ピッチベンド・プレートで MIDI CC データの送信ができます。

- **CC Number** : このスライダで、ピッチベンド・プレートに触れた時に送信される CC ナンバを設定します。
- **Release** : このスライダで、ピッチベンド・プレートから指を離れた時に送信される CC 値を設定します。
- **Press** : このスライダで、グライド・プレートをしっかりと押さえた時に送信される CC 値を設定します。

Breath



Breath タブをクリックすると、EWI5000 のブレス・センサの動作の設定が行えます。

重要 : **Breath**、**Volume** および **Expression** の項目にある **Low Resolution** と **High Resolution** のオプションは、EWI5000 の (USB ポートと MIDI 出力端子経由の) MIDI 出力にのみ有効です。EWI5000 が内蔵音源に対して送信するメッセージは、これらの設定には影響されません。

Breath :

- **Off** : このチェックボックスを選択すると、ブレス・センサによるブレス・メッセージの送信は行われなくなります。
- **Low Resolution** : このチェックボックスを選択すると、ブレス・センサによるブレス・メッセージの解像度が低くなります (CC メッセージは 1 個)。
- **High Resolution** : このチェックボックスを選択すると、ブレス・センサによるブレス・メッセージの解像度が高くなります (CC メッセージは 2 個)。

Volume :

- **Off** : このチェックボックスを選択すると、ブレス・センサによるボリューム・メッセージの送信は行われなくなります。
- **Low Resolution** : このチェックボックスを選択すると、ブレス・センサによるボリューム・メッセージの解像度が低くなります (CC メッセージは 1 個)。
- **High Resolution** : このチェックボックスを選択すると、ブレス・センサによるボリューム・メッセージの解像度が高くなります (CC メッセージは 2 個)。

Expression :

- **Off** : このチェックボックスを選択すると、プレス・センサによるエクスプレッション・メッセージの送信は行われなくなります。
- **Low Resolution** : このチェックボックスを選択すると、プレス・センサによるエクスプレッション・メッセージの解像度が低くなります (CC メッセージは 1 個)。
- **High Resolution** : このチェックボックスを選択すると、プレス・センサによるエクスプレッション・メッセージの解像度が高くなります (CC メッセージは 2 個)。

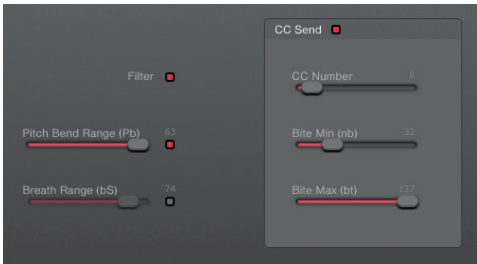
Aftertouch : このチェックボックスを選択すると、プレス・センサがアフタータッチ (チャンネル・ブレスシャとも呼ばれます)・メッセージを送信ようになります。

Lock Velocity : このチェックボックスを選択すると、プレス・センサが送信するベロシティ値の初期値が固定されます (設定範囲は 0 ~ 127)。

Constant Output : このチェックボックスを選択すると、プレス・センサが送信するベロシティ値が、音を伸ばしている間ずっと固定されるようになります (設定範囲は 0 ~ 127)。

CC Send : Enable のチェックボックスを選択すると、プレス・センサが MIDI CC メッセージを送信できるようになります。

- **CC Number** : このスライダで、プレス・センサが送信する CC ナンバを設定します。
- **No Breath** : このスライダで、マウスピースを吹くのを止めた時にプレス・センサから送信される CC 値を設定します。
- **Breath** : このスライダで、マウスピースを吹いた時に送信される CC の最大値を設定します。

Bite

Bite タブをクリックすると、EWI5000 のバイト・センサの動作の設定が行えます。

Filter : このチェックボックスを選択すると、バイト・センサが Akai Professional EWI4000 のものと同様の動作をします。チェックボックスのチェックを外すと、バイト・センサは、マウスピースを噛む強さに対してリニアに反応し、ピッチがバンドされるようになります。

Pitch Bend Range : このチェックボックスを選択すると、今鳴らしている音をバイト・センサでバンドできるようになります (リード楽器のリードを噛むと音程が変化しますが、それと似た効果です)。スライダでバンドの量を調節します (-63 ~ +63)。

Breath Range : このチェックボックスを選択すると、バイト・センサでプレス情報を変化させられるようになります。スライダでその度合いを調節します (-99 ~ +99)。

CC Send : このチェックボックスを選択すると、バイト・センサが MIDI CC メッセージを送信できるようになります。

- **CC Number** : このスライダで、バイト・センサが送信する CC ナンバを設定します。
- **Bite Min** : このスライダで、バイト・センサから送信される CC 値の最小値を設定します。
- **Bite Max** : このスライダで、バイト・センサから送信される CC 値の最大値を設定します。

ファームウェア・アップデート

Firmware Version: 1538 **Update**

クリックするタブに関わらず、EWI5000 のファームウェア・バージョンは、ウィンドウの右下に常に表示されています。

Update ボタンをクリックすると、ファームウェアのアップデート・ファイル（ダウンロード済みの場合）が EWI5000 に送信されます。利用可能な EWI5000 のファームウェアのアップデート情報は、ウェブサイト <http://ewi.akai-pro.jp/ewi5000/> を参照してください。

商標およびライセンスについて

Akai Professional は、アメリカ合衆国およびその他の国々で登録された、inMusic Brands, Inc. の商標です。

Mac および OSX は、アメリカ合衆国およびその他の国々で登録された、Apple Inc. の商標です。

Windows は、アメリカ合衆国およびその他の国々で登録された、Microsoft Corporation の商標です。

その他全ての製品名および会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

AKAI
PROFESSIONAL

akai-pro.jp